

特集

慢性疼痛

企画 本誌編集委員会

痛みは患者の QOL や ADL に大きく関わり、各科の医師が診療にあたる機会が多い。しかし、漫然と鎮痛薬の投与などが継続され、必ずしも適切な治療がなされていないことも多いのではないか。そのような問題意識のもとに企画した本特集では、内科治療やペインクリニックでの診療の実際、近年病態が解明されつつある筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群と痛みとの関連など、臨床家による解説から、疼痛の病態生理、心理的な機序など基礎分野の話題まで幅広く取り上げた。国内には 2000 万人を超える慢性疼痛患者が存在するとされる。慢性疼痛対策を喫緊の課題として受け止め、明日からの臨床・研究につなげてほしい。